

# 6月の園だより

平成21年6月1日 発行 おぼやし保育園



6月の行事予定

1日(月) ポピー畑見学  
 2(火)~4日(木) 保育参加  
 5日(金) 家族の日(プレゼント渡し)  
 8日(月) さくら組個別面談開始  
 18日(水) 避難訓練(火災)  
 25日(木) 歯科検診  
 (園医) 島田歯科医院長 島田 洋先生  
 29日(月) すみれ組個別面談開始  
 30日(火) おたんじょうかい

その他の行事  
 ・じゃがいも掘り(※)  
 ※日程が確定次第お知らせします。

## 梅雨の季節

衣替えの季節を迎えました。保育園での生活も2ヶ月たち子どもたちも園生活に慣れ、梅雨空を吹き飛ばすかのように、朝から元気な声があふれています。好きな遊びを見つれたり、仲よしの友だちを誘って砂場や滑り台で遊ぶ姿も見られるようになり、行動範囲も広がって毎日が冒険です。安全に留意しながら見守りたいと思っております。うめ組の園児が植えたトウモロコシ、ピーマン、ナス、トマトなどはすくすくと育っているようです。これから梅雨の季節を迎え室内遊びが多くなり、外遊びができなくてイライラしたりストレスの溜る子も出てきます。園では室内での遊びを楽しめるように配慮していきます。今月は保育参加の月です。子ども

## 衣替え...

初夏の日ざしが日ごとにまぶしくなり、外から帰ってくる子どもたちも泥んこで汗びっしょり！ますます活発になってきました。6月1日は衣替え。園に置いてある着替えも夏用のものに取り替えたいと思います。この機会に、衣服や持ち物の記名が取れていないかどうか、サイズが小さくなっていないかなども確認しておきたいですね。



## 虫歯の予防...

「みてみて、ピカピカ!」。食後のブクブクうがいや歯みがきの習慣が少しずつ身についた子どもたち。「お口のなか感じがいいね」と満足そうな表情をみせてくれます。健康な歯と歯ぐきはいつまでも持ち続けたいものですね。子どもたちが自分の体を大事にしようとしている気持ちを十分に受けとめ、大切に育んでいきたいと思えます。

6月の目標	
ヒヨコ	・自分の好きなおもちゃや好きな場所を見つけ、遊ぶことを楽しみましょう。
ウサギ	・梅雨期の自然に触れて遊ぶ。
すみれ	身近な動植物に親しんだり、砂、土、水などにふれて遊ぶことを楽しむ。
	梅雨期の健康な生活に必要な習慣や態度を身につける。 ・身近な自然事象や動植物に関心を持ち、見たりふれたり遊んだりする。
うめ	・友だちの思いを受け入れ共通の目的を持って遊びを進めていく。 ・自分の体に関心を持ち健康的な生活を送ろうとする。

天気の良い日にじゃがいもほりを行います。

長靴または汚れてもいい靴下(大人用)とビニール袋  
名前を書いて12日までにご持参ください。



おたんじょうびおめでとう!

1日 ひがみ あやねちゃん(6さい)  
 5日 おおつか すずむくん(5さい)  
 8日 とりうみ あすかちゃん(5さい)  
 9日 せきね れんくん(3さい)  
 9日 ひぐち たつやくん(5さい)  
 20日 えのもと あおいちゃん(2さい)



**Aちゃんの不安**

四月に入所したAちゃん(女児八か月)、抱っこやおんぶを求め、かまってほしくて泣きだす姿がありました。いつも同じ保育士が受けとめることで少しずつ安心し、笑顔もみられるようになりました。しかし保育士を独占したいという気持ちは強く、急に泣き出し抱っこを求めることが多くなりました。

私がそばについていると、お座りの姿勢で目の前にある玩具に手を伸ばし、あそぼうとするAちゃん。ときどき後ろを向いて私がそばにいるかどうかわかぬか、またあそび始めます。その姿に、不安な気持ちや、そばにいてほしい思いを感じ、「大丈夫、ちゃん」と声をかけ玩具で



ある保育園での保育の風景です。

**私だけを相手にして**

しばらくあそんでいると、また抱っこをしてほしくて泣きだしがみついてきます。抱っこしながら「なぜそんなに不安なのか」「Aちゃんの気持ちを受けとめきれないのか?」「もっと他のあそびがしたいのか?」「こんなにそばにいないのになんで泣いて、いろいろな思いが巡りました。夕方、ほかの保育士がAちゃんを一人であそんでいるとき、笑顔を見せ「キャッキャ」とはしゃぐAちゃんがいて、抱っこを求めた姿は少しもみられませんが、「なぜ?」「私の対応とど

**思いを受けとめて**

今、目の前がかかわっているほかの保育士は、ただただ、Aちゃんと楽しくあそぼうとしています。Aちゃんが求めているのは「私とあそんで」であり、気持ちを受けとめていたつもりが、実は心のなかで自分の都合が中心になっていることに気づきました。経験を重ねるうちに、子どもを思いを一番に考え、受けとめることをいつの間にか忘れていました。

原点を思い出させてくれた今回の出来事を心にしっかりと刻みながら、本当の意味で一人ひとりの子どもに寄り添ったかわり、今、目の前にいる子どもにどうしてあげることが必要なのかを考え、保育をしていきたいと思えました。

## 小学校へつなげる生活習慣

### 第3回 食事は楽しく!

文・増田時枝

近ごろよく聞く「食育」ということは、食事の内容だけでなく、食材への意識やマナーなど一つひとつを見直し、子どもの成長につながる食育を実践していきましょう。

年長組になると、友だちの輪も広がり、遊び方も一段と活動的になります。十分からだを動かした後の子どもたちからあがる「ああ、おなかすいた!」「お弁当、まだ?」「といった声に促されて、楽しい食事が始まります。保護者の方はいろいろとお弁当の中身を工夫されていることでしょうか。園でも、楽しく食事ができるように、先生方は雰囲気づくりに気をつけています。

「食育」ということを聞かれたことがありますか? 「食」をたいせつにする気持ちの欠如、栄養的に偏ったバランスの食事など、将来を担う子どもたちの心身の育ちを支える「食」にはさまざまな問題があります。それらが社会の課題として取り上げられ、平成十七年に食育基本法という法律が制定されました。食育は知育、徳育及



「たのしく いただきます!」

が体育の基礎となるものとして位置づけられ、学校教育でも総合的、計画的に取り入れられています。子どもたちが「食」によって「育つ」ということは、からだに必要な栄養を摂り、食材への感謝、食事のマナーなどすべてが成長につながるということなのです。食事のマナーとしては、口中に食べ物があるときは話さないこと、正しい食器の配置で食べ物正面に座ること、箸を振りまわさないこと、食事中に立ち歩かないこと、集中してある程度の時間内に食べ終えること、そして最後に、食後の片づけもきちんとすること、などがあります。

小学校での給食が楽しみになるように、子どもたちの食事の内容やマナーなどを見直し、園とご家庭とが協力して食育に取り組んでいきたいものです。